

Cobalt Filter Neo

ユーザーマニュアル / Version 1.0.0 / Release_01 / JUCE 8

Cobalt Filter Neo は、Zero-Delay Feedback構造を意識したラダー系フィルター・プラグインです。LPF / HPF / BPF、複数スロープ、Driveサチュレーション、Make up出力ゲイン、リアルタイム周波数レスポンス表示、プリセット/バンク管理を備えています。

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| Product | Cobalt Filter Neo / Cobalt Filter Neo Lite |
| 形式 | VST3, CLAP, Standalone |
| 対象環境 | Windows 64-bit |
| フレームワーク | JUCE 8 |
| プリセット形式 | .cfnp |
| バンク形式 | .cfnb |

このマニュアルは、配布ユーザー向けの操作説明です。開発用ビルド手順やローカル環境のパスは記載していません。

1. 概要

Cobalt Filter Neo は、音作りに必要な操作を1画面にまとめたフィルターです。Cutoff、Resonance、Drive、Make upを中心に調整し、右側のグラフで周波数レスポンスを確認できます。

- LPF / HPF / BPF の3モードを搭載。
- 6 dB / 18 dB / 24 dB のスロープを選択可能。
- Driveで入力段とフィードバック経路にサチュレーションを付加。
- Make upは全モード共通の最終アウトプットゲイン。
- Save / Load / Init / Undo / Redo と Menu を上部に配置。

2. インストール場所

| 形式 | 配置先 |
|------------|---|
| VST3 | C:\Program Files\Common Files\VST3\CobaltFilterNeo.vst3 |
| CLAP | %USERPROFILE%\AppData\Local\Programs\Common\CLAP\CobaltFilterNeo.clap |
| Standalone | 配布パッケージ内の CobaltFilterNeo.exe を実行します。 |

DAWに表示されない場合は、DAW側のプラグイン再スキャンを実行してください。

3. クイックスタート

- DAWでVST3またはCLAPをスキャンします。
- オーディオトラックまたはエフェクトスロットに Cobalt Filter Neo を挿入します。
- まず Cutoff を動かして、フィルターの効き方を確認します。
- Resonance を少し上げ、カットオフ周辺のピークを調整します。
- Drive を上げると、より太く飽和した質感になります。
- Make up で最終出力レベルを整えます。
- LPF / HPF / BPF と 6 dB / 18 dB / 24 dB を切り替えて目的のキャラクターを選びます。

4. コントロール

| コントロール | 範囲 / 選択肢 | 説明 |
|---------------|----------------------|---|
| Cutoff | 20 Hz - 20,000 Hz | フィルターの中心となる遮断周波数です。対数カーブで操作します。 |
| Resonance | 0.00 - 0.75 | Cutoff周辺のピークとフィードバック感を調整します。 |
| Drive | 1.0 - 10.0 | 入力段とフィードバック経路に加えるサチュレーション量です。 |
| Make up | 0.0 dB - 6.0 dB | 最終アウトプットゲインです。LPF / HPF / BPFすべてに同じように適用されます。 |
| Filter Mode | LPF / HPF / BPF | 低域通過、高域通過、帯域通過を切り替えます。 |
| Slope / Poles | 6 dB / 18 dB / 24 dB | フィルターの傾きを切り替えます。24 dBが最も急峻です。 |

5. プリセット、バンク、Menu

バンクはプルダウンで選択します。プリセットの横には</>ボタンがあり、前後のプリセットへ移動できます。右隣に Save、Load、Init、Undo、Redo、Menu が並びます。

| 操作 | 説明 |
|------|---|
| Save | ポップアップを開き、現在のバンク名とプリセット名を編集してUserバンクへ追加します。 |
| Load | .cfnp プリセットまたは .cfnb バンクを読み込みます。旧 .cfnpreset も読み込み互換があります。 |
| Init | 画像で指定された初期値へ戻します。Cutoff=20000 Hz、Resonance=0.00、Drive=1.00、Make up=0.00 dB、LPF、24 dB、通常版は2x。 |
| Menu | About、Import Expansion、Export Expansion、Rename Expansion、Delete Expansionを開きます。Deleteは英語のYes / No確認を行います。 |

6. 音作りの目安

| 目的 | 設定例 |
|------------|---|
| 定番ローパス | LPF / 24 dB、Cutoffを下げ、Resonanceを少し追加。Make upで出力を補正。 |
| 軽いトーンシェイプ | LPFまたはHPF / 6 dB、Driveは低め。 |
| ワウ風のピーク | BPF、Resonance高め、Cutoffをオートメーション。 |
| 荒いサチュレーション | Driveを上げ、ResonanceとMake upを抑えめに調整。 |
| ミックス用低CPU | Lite版、Oversampling OFF、HPFで不要低域を整理。 |

7. ホスト連携と状態保存

各パラメータはホストオートメーションと状態保存に対応します。DAWプロジェクト保存時には、現在のパラメータ状態がプラグイン状態として復元されます。プリセットとバンクは、手動保存時に .cfnp / .cfnb として管理します。

8. JUCEライセンス表示

このプラグインは JUCE Framework を使用しています。About画面および配布ドキュメントには、JUCE Framework modules are dual-licensed under AGPLv3 and the commercial JUCE licence. という表示、Raw Material Software Limited の著作権表示、JUCE 8 EULAへのリンクを記載しています。

- JUCE 8 EULA: <https://juce.com/legal/juce-8-licence/>
- JUCE source and licence notice: <https://github.com/juce-framework/JUCE>
- VST3 SDK: Steinberg VST3 SDK licence または GPLv3 の条件に基づきます。
- CLAP / clap-juce-extensions: MIT-licensed components.

9. トラブルシューティング

| 症状 | 確認事項 |
|-------------|--|
| DAWに表示されない | プラグインキャッシュを再スキャンします。 |
| CLAPが見つからない | %USERPROFILE%\AppData\Local\Programs\Common\CLAP を確認します。 |
| VST3が見つからない | C:\Program Files\Common Files\VST3 を確認します。 |
| 音が歪みすぎる | Drive、Resonance、Make upを下げます。 |
| 音量変化が大きい | Make upを下げ、DAWの出力レベルを確認します。 |